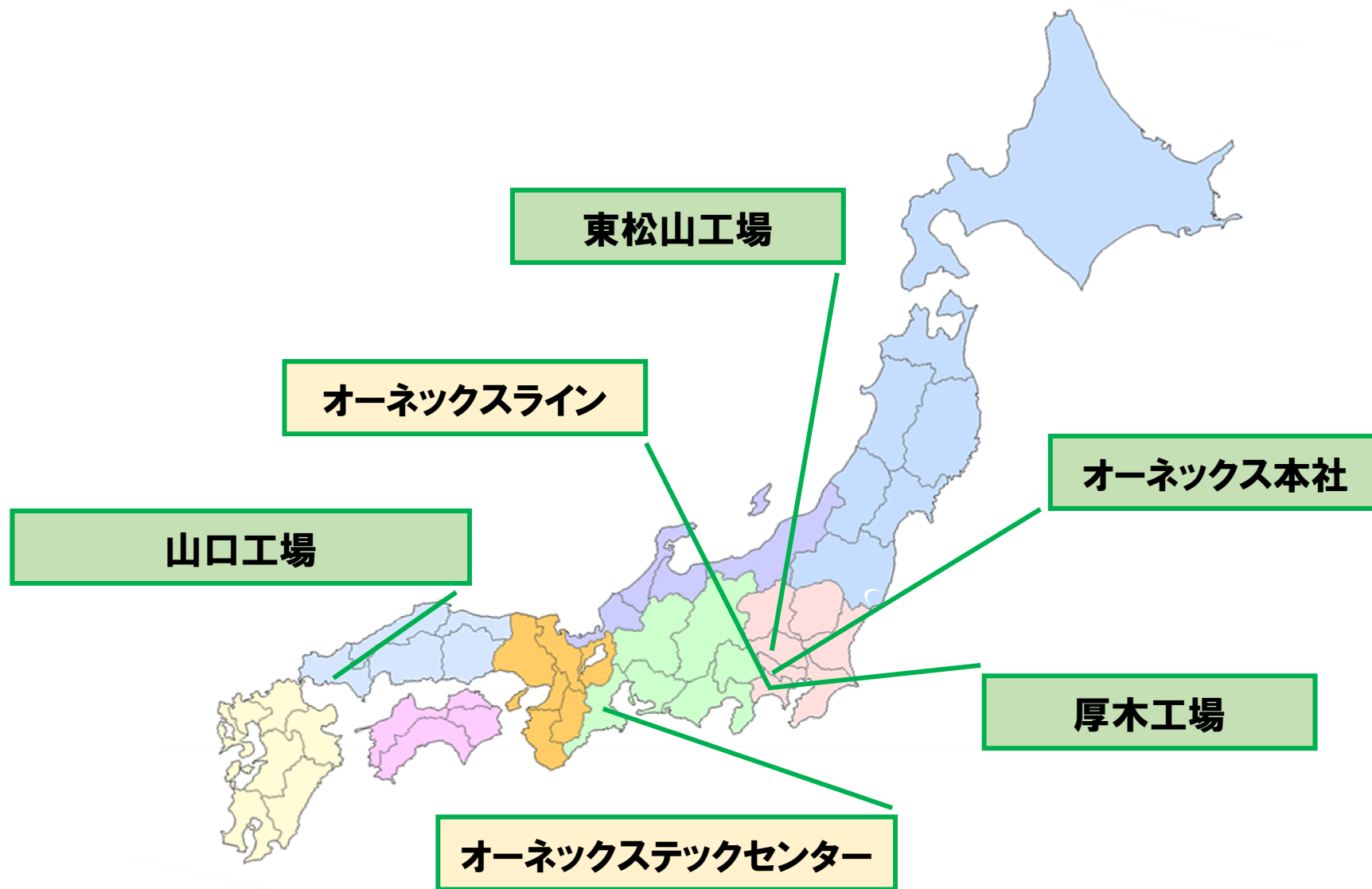


# 2022年6月期 決算説明資料

- 1. 当社のご紹介**
- 2. 2022年6月期決算概要**
- 3. 2023年6月期通期業績見通し**
- 4. 今後の展望**
- 5. APPENDIX**

# 1. 当社のご紹介

# 当社グループのご紹介

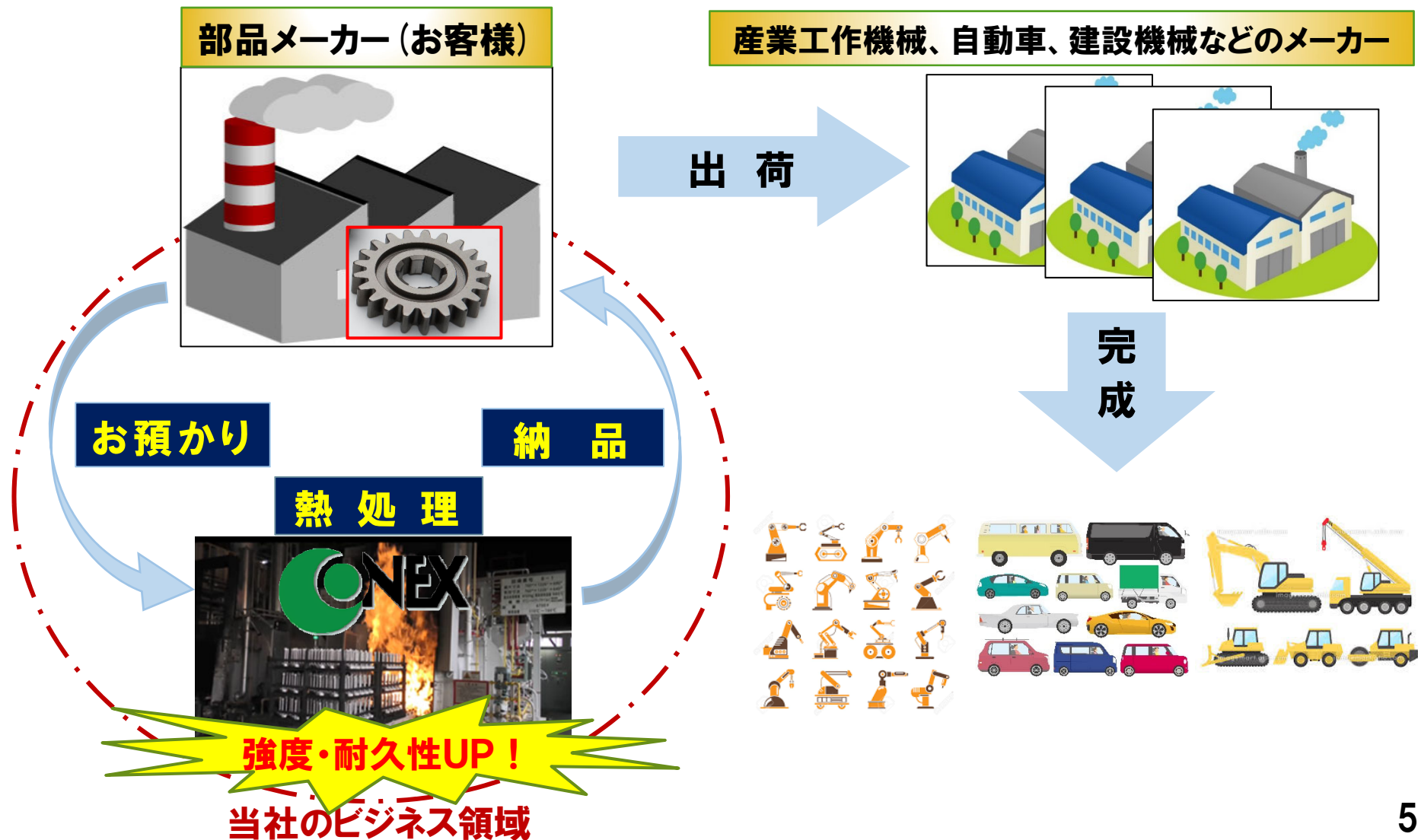


# 当社のご紹介



## 事業形態

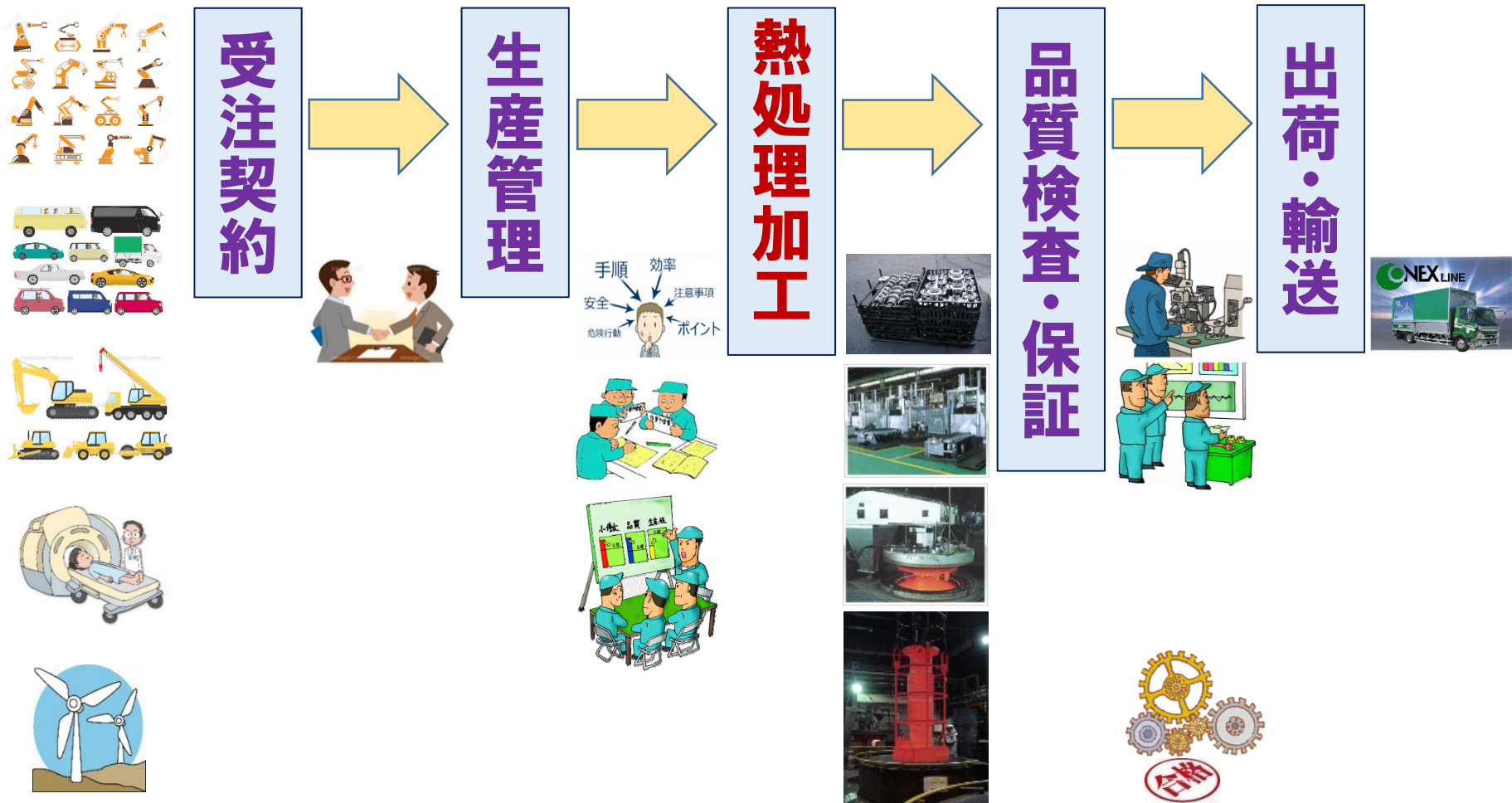
産業基盤を力強く支える金属熱処理専門企業として70年以上  
さらに持続可能な社会の実現に貢献



# 当社のご紹介

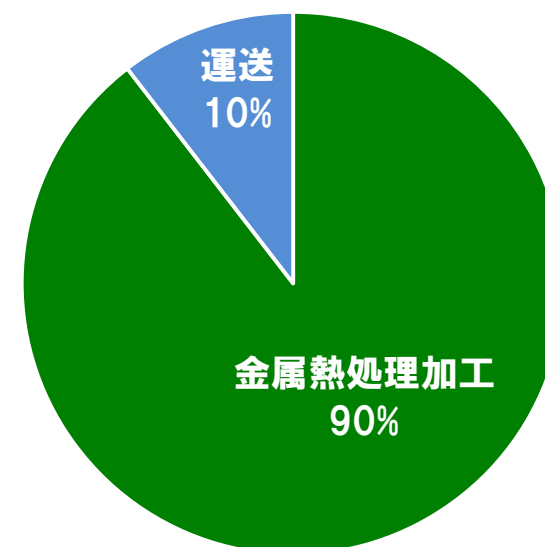


**業務フロー** 金属部品の機械的性質を高める熱処理技術の総合デパートとして業界をリード  
長年蓄積した熱処理技術と厳格な品質管理、正確な制御技術の総合力が当社の強み



## 金属熱処理加工事業と運送事業の両輪で事業を展開

セグメント	事業内容
<b>金属熱処理加工</b> <small>(株)オーネックス (株)オーネックステックセンター</small>	<b>浸炭焼入 ガス軟窒化 高周波熱焼入 真空浸炭 その他</b>
<b>運送</b> <small>(株)オーネックスライン</small>	<b>一般貨物運送業 その他</b>



連結売上高5,302百万円  
(2022年6月期)

## 2. 2022年6月期 決算概要



## 連結

**金属熱処理加工事業が黒字化し増収増益を達成**  
**ロシア・ウクライナの影響による原材料費高騰も**  
**売上増等で吸収**  
**長期金利上昇による退職給付に係る負債減少**

## 金属熱処理加工事業

**産業工作機械・建設機械関連受注が好調**  
**火災事故に係る受取保険金**

## 運送事業

**一般貨物運送の持ち直しにより売上が増加**

## 増収増益を達成

(百万円)

	2021年6月期	2022年6月期	増減	増減率
売上高	5,066	5,302	236	4.7%
売上総利益	972	1,085	112	11.6%
営業損益	△ 111	113	224	-
経常損益	△ 73	125	199	-
純利益	△ 201	161	363	-
1株当たり当期純利益(円)	△ 121.73	97.71	219.44	-
自己資本当期純利益率(%)	△ 3.7%	3.0%	6.7%	-

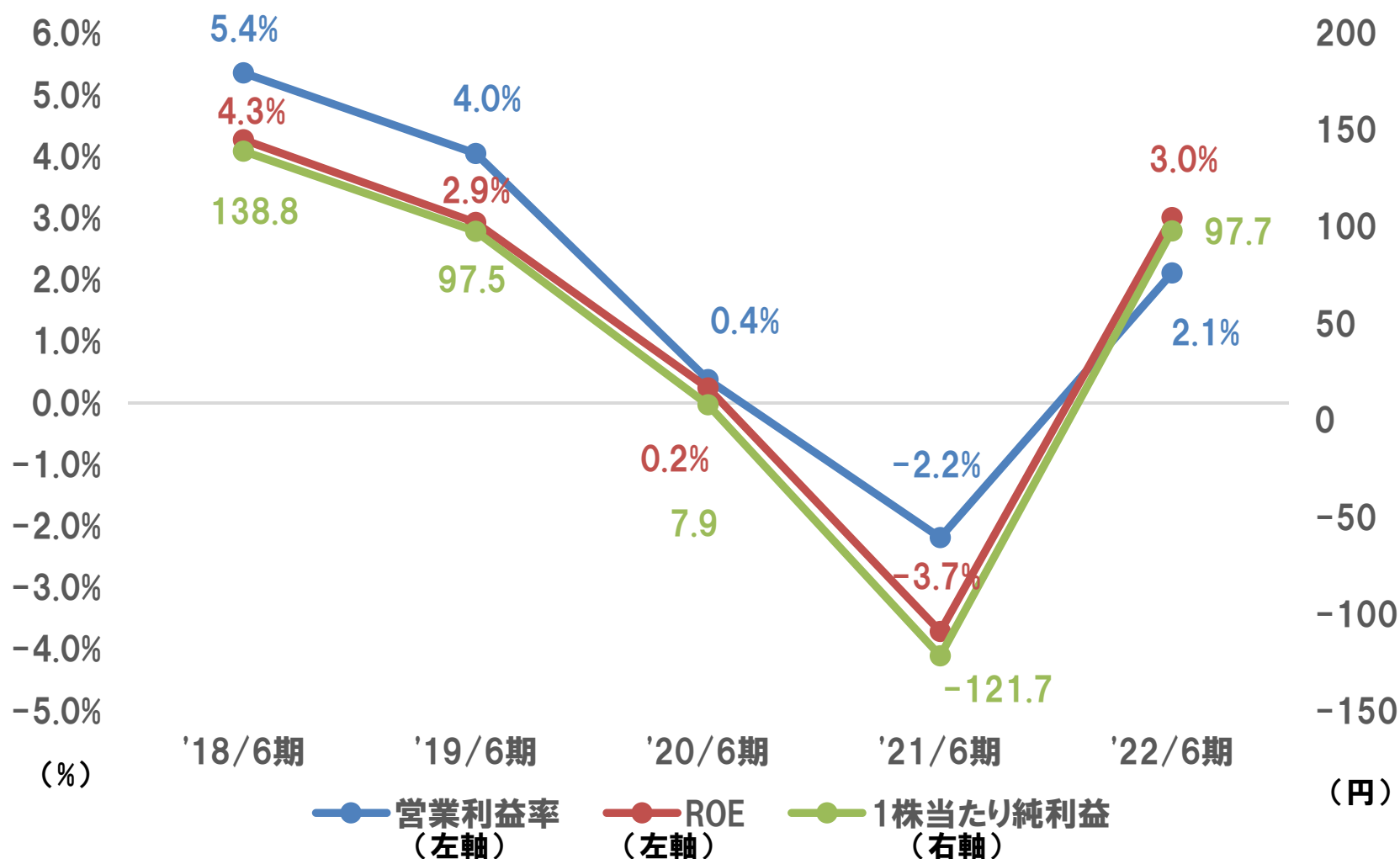
**売上高:産業工作機械・建設機械関連受注が好調**

**営業利益:長期金利上昇による退職給付に係る負債減少**

**当期純利益:火災事故発生に係る受取保険金**

**2021年6月期:長野工場閉鎖に伴う移設費が発生したため赤字となった**

## 営業利益率の改善で、ROE、一株当たり純利益ともに反転



# 連結売上高の推移



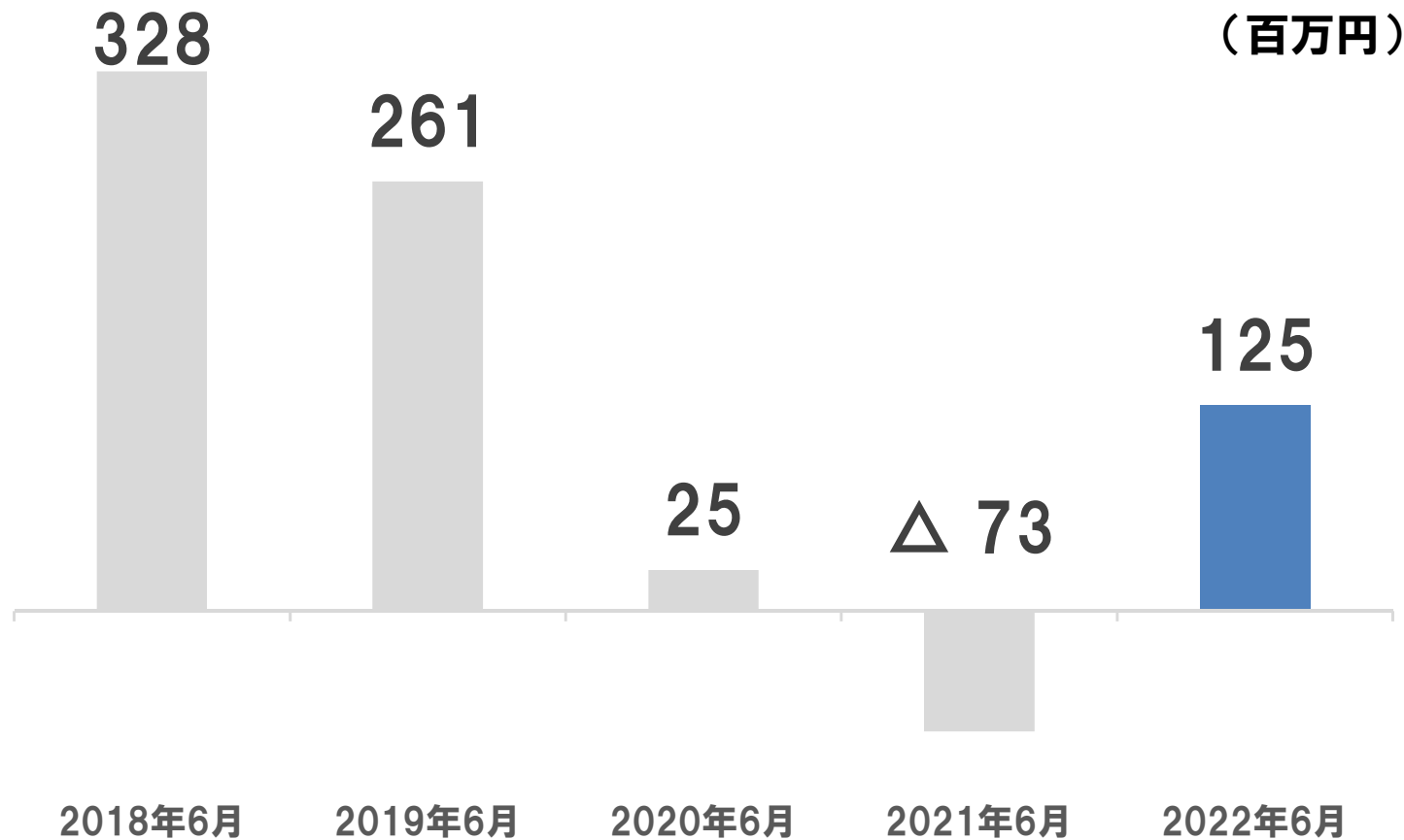
産業基盤を支える事業として比較的安定した売上高を計上



# 連結経常利益の推移



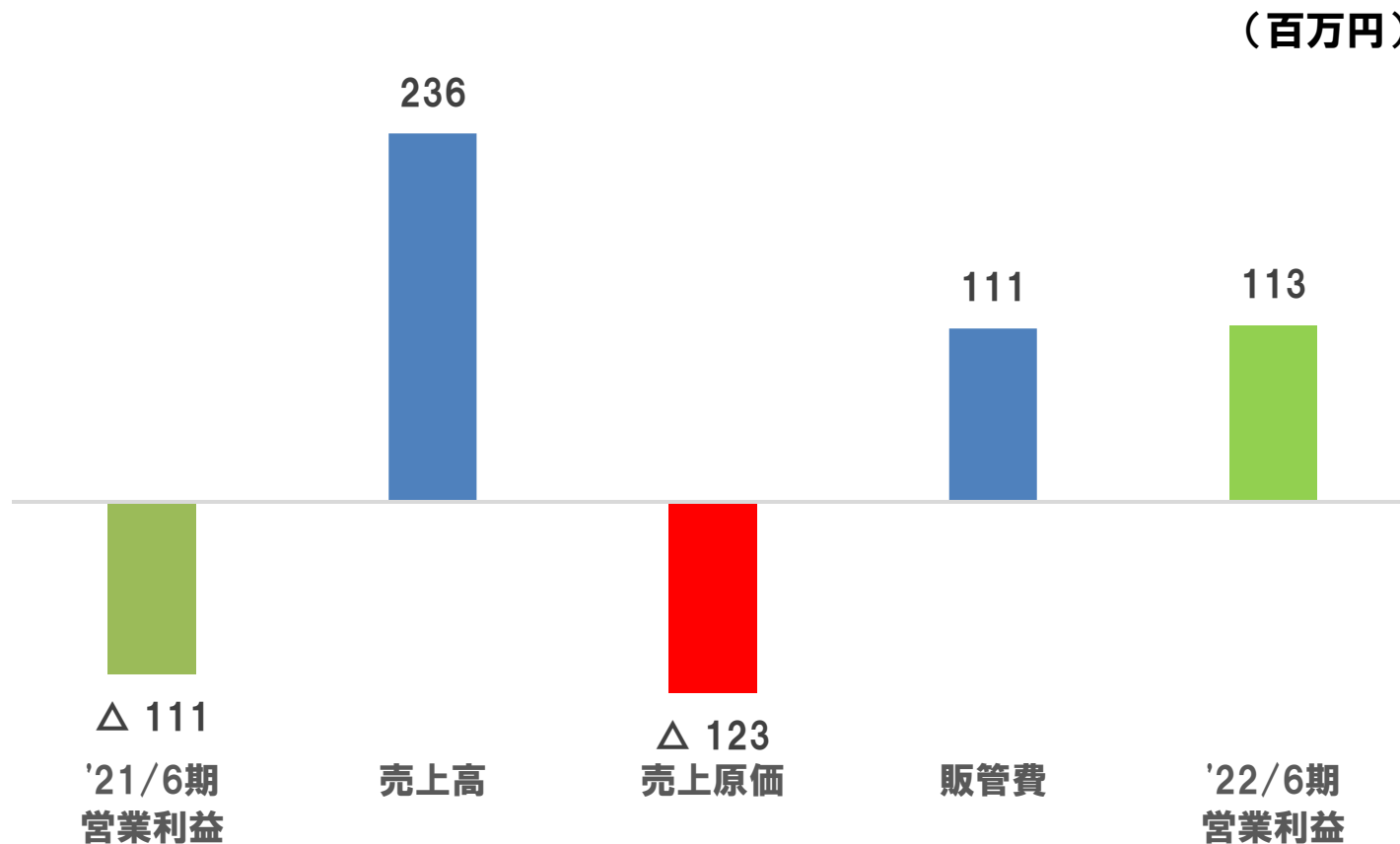
前期の長野工場閉鎖・移設に伴う一時費用が剥落し、黒字化



# 連結営業利益の主な増減要因



エネルギーコストが大きく上昇したものの、売上の増加や販管費の減少により営業利益は前期比+224百万円を達成



# セグメント別業績



(百万円)

売上高	2021年6月期	2022年6月期	増減	増減率
金属熱処理加工	4,515	4,747	231	5.1%
運送	550	555	4	0.9%

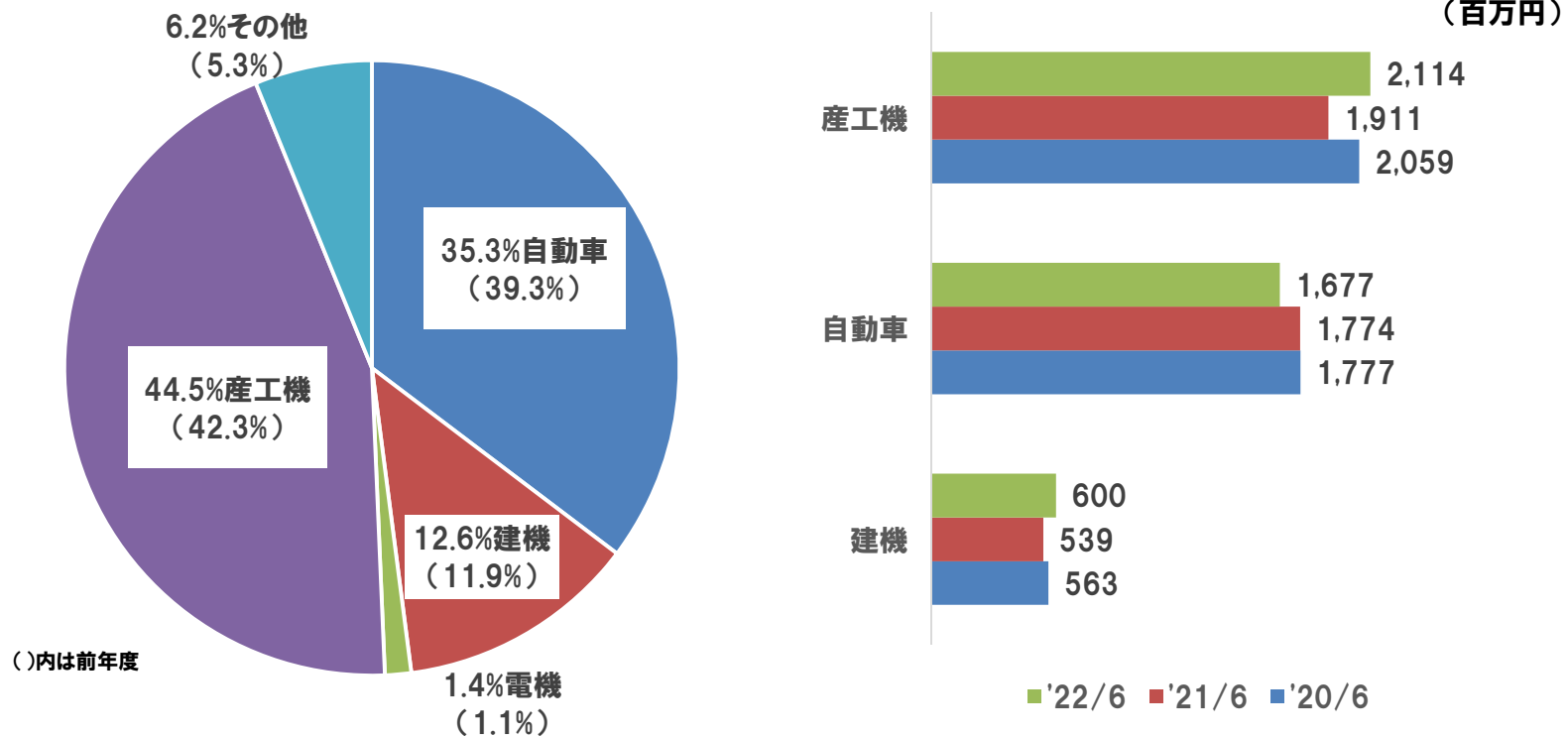
(百万円)

セグメント利益	2021年6月期	2022年6月期	増減	増減率
金属熱処理加工	△ 152	68	221	-
運送	20	25	5	27.4%

# 業種別シェア及び売上高



自動車部品関連は減少したものの、産業工作機械、建設機械関連が牽引役となり売上高拡大



※金属熱処理加工事業(オーネックス、オーネックステックセンター)の業種別シェア及び売上高

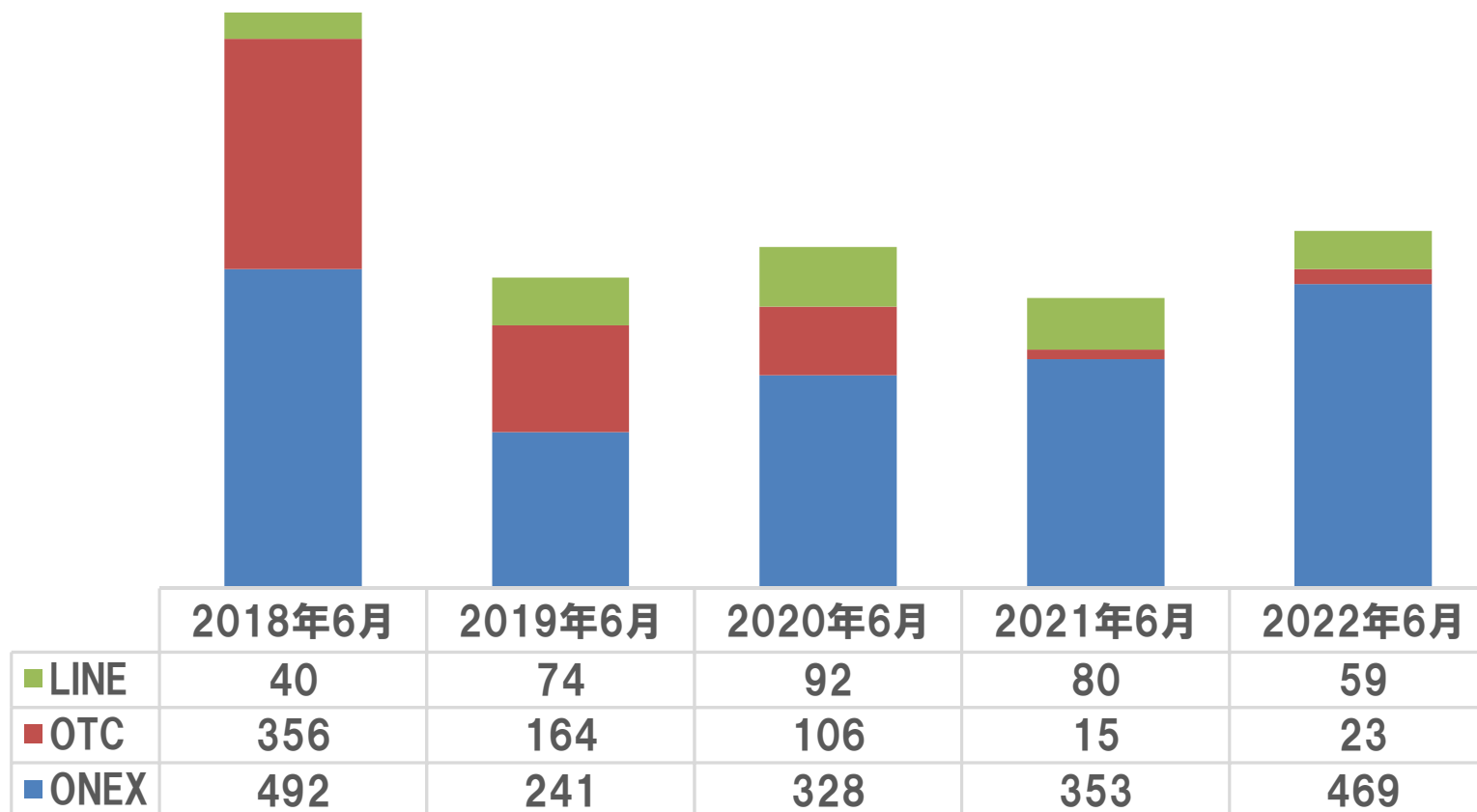


# 設備投資(連結)の状況



2022年6月期は山口工場の機動的運用を行うための投資を推進

(百万円)



# 連結キャッシュフローの状況

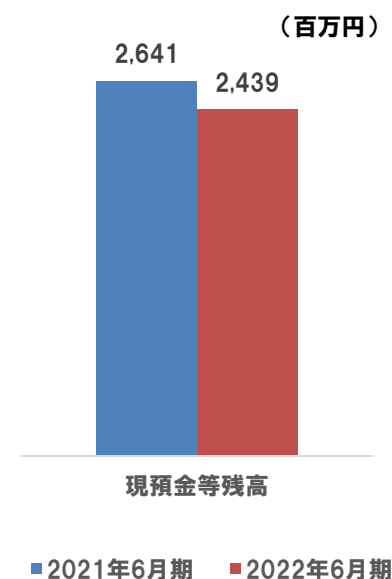
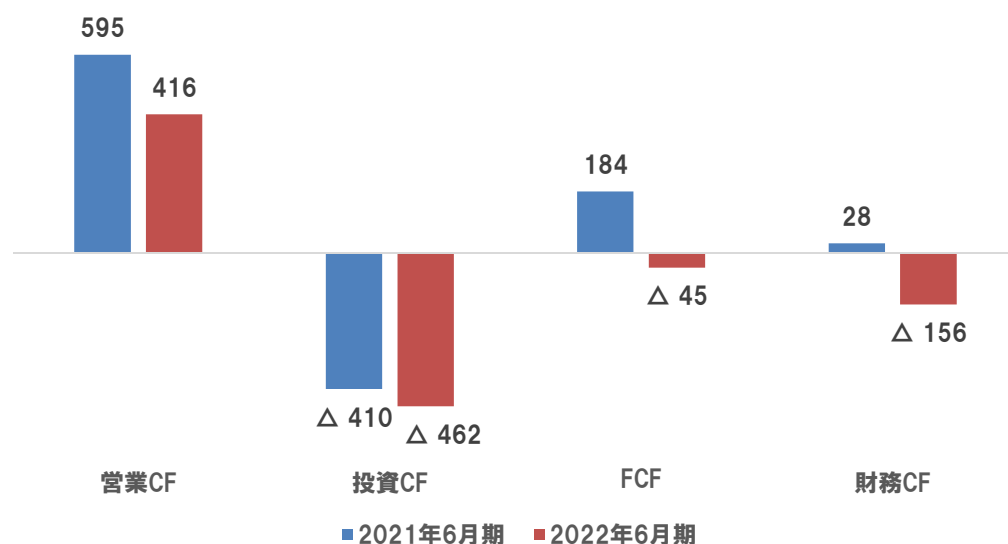


営業CF: 未払金の減少等により減少

投資CF: 有形固定資産の取得増

財務CF: 借入金の返済等により減少

現預金等残高は  
201百万円の減少



# 連結貸借対照表



(百万円)

	2021年 6月期	2022年 6月期	増減	主な増減
流動資産	4,563	4,320	△ 242	現金及び預金△201
固定資産	5,619	5,465	△ 154	有形固定資産△62、投資その他の資産△78
資産合計	10,183	9,785	△ 397	
流動負債	2,051	1,728	△ 323	未払金△153、その他△61
固定負債	2,794	2,621	△ 172	退職給付に係る負債△139
負債合計	4,846	4,350	△ 495	
純資産	5,337	5,435	98	利益剰余金128
負債純資産合計	10,183	9,785	△ 397	
自己資本比率	52.4%	55.5%	3.1%	

# 3. 2023年6月期 通期業績見通し

# 2023年6月期業績予想(連結)



単価アップ交渉を進めると同時に各工場にて合理化を推進し増収・増益を見込む

(百万円)

	2022年6月期	2023年6月期 (予想)	増減	増減率
売上高	5,302	5,957	654	12.3%
営業利益	113	180	66	59.2%
経常利益	125	172	46	36.8%
純利益 ※	161	121	△ 40	△ 25.1%
1株当たり当期純利益(円)	97.71	73.19	△ 24.52	-

※純利益の減益予想は、受取保険金の効果が剥落するためであり、本業ベースでは増益を見込む

# 配当方針と配当予想



## 配当方針

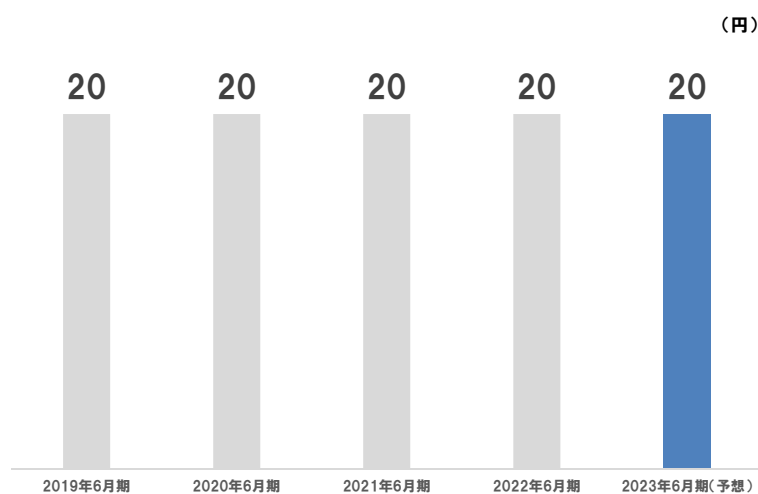
株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の1つとして位置づけ

企業体質の強化と将来の事業展開に備えた内部留保の充実を勘案し、安定的に配当を行うことを基本方針とする

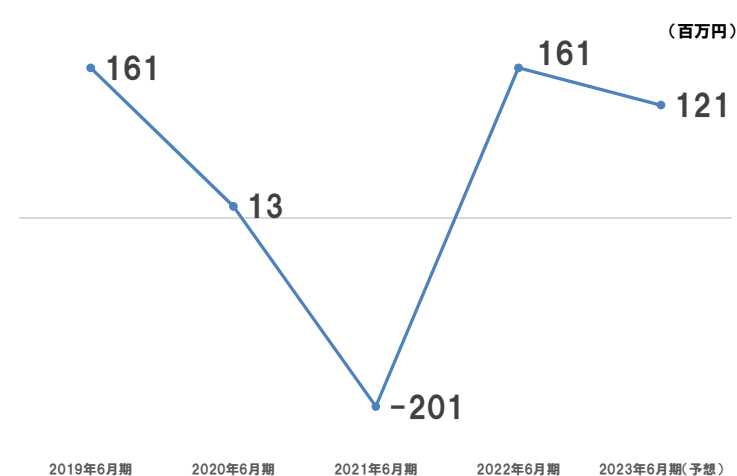
## 配当予想(2023年6月期)

一株当たり20円 ~安定配当へのコミットメント

### 配当金



### 純利益



# 4. 今後の展望

## 熱処理事業を取り巻く環境

- **新型コロナウイルス感染症による  
物流の停滞及び原油価格の高騰等**
- **米中間の貿易摩擦(4年目)**
- **ロシアのウクライナ侵攻による原材料費等の高騰**
- **グローバル化のリスクが顕在**
- **カーボンニュートラルな社会への動き、自動車EV化**
- **各地で生起する自然災害**



## 熱処理事業を取り巻く環境

- **新型コロナウイルス感染症による  
物流の停滞及び原油価格の高騰等**
- **米中間の貿易摩擦(4年目)**
- **ロシアのウクライナ侵攻による原材料費等の高騰**
- **グローバル化のリスクが顕在**
- **カーボンニュートラルな社会への動き、自動車EV化**
- **各地で生起する自然災害**

## 熱処理事業を取り巻く環境

- **新型コロナウイルス感染症による  
物流の停滞及び原油価格の高騰等**
- **米中間の貿易摩擦(4年目)**
- **ロシアのウクライナ侵攻による原材料費等の高騰**
- **グローバル化のリスクが顕在**
- **カーボンニュートラルな社会への動き、自動車EV化**
- **各地で生起する自然災害**

## 当社の経営戦略

- **熱処理技術力の向上と新しい熱処理技術への取組み**  
顧客のニーズに応えつつ、新しい熱処理技術に挑戦し事業化
- **環境の変化に対応した柔軟な事業展開**  
変化に対応し持続可能な企業であるための柔軟な事業展開
- **顧客志向を徹底した提案型営業**  
顧客のニーズを的確に把握し、提案型営業を推進
- **ITを活用したワークスタイルの変革**  
ITツールを活用したより効率的なワークスタイルへ転換
- **人材の育成**  
教育制度を充実させ、グローバルに対応できる人材の育成

## 当面の方針

- ・ウイズ コロナ社会による世界経済の回復に備え、既存事業の合理化、効率化の追求
- ・カーボンニュートラルな社会への対応
- ・SDGsに向けたESG経営
- ・自然災害への備え
- ・労働人口減少への対応

## 今期以降の取組み

### 工場合理化等による生産性の向上

- ☆ オーネックステックセンターの事業拡充
- ・東海地方はじめ近畿地方への市場開拓

## 過年度実績

- ☆ 長野工場の閉鎖(2021年3月)
  - ・厚木、東松山工場への設備・製品移管の完遂
  - ・厚木、東松山工場の管理部門の一元化
- ☆ 山口工場の機動的な運用
  - ・第1工場の敷地の拡張及び増築
  - ・第1工場へ縦型真空炉を新設(2021年12月)し、需要増に対応

## 今期以降の取組み

### 環境・社会・ガバナンス (ESG) へ貢献

☆ カーボンニュートラルな社会へ向けて太陽光発電システムの導入継続(厚木工場、東松山工場)

### 前期導入実績

自家消費型太陽光発電システム	
工場名	CO2削減量
オーネックス テックセンター	年間約 <b>106t</b>
山口工場	年間約 <b>60t</b>



## 今期以降の取組み

### BCP(事業継続計画)

- ☆ 分散した事業拠点のバランス
  - ・概ね東西に分散した事業拠点の生産能力のバランス
  - ・オーネックステックセンター(亀山市)の生産能力向上
  - ・ITの確保(ネットワークサーバーの分散配置)

### 経済安全保障

- ☆ 情報漏洩
  - ・不正アクセス等による漏洩防止
  - ・工場が持つ顧客製品情報や当社の熱処理技術等を流出させない。

## 今期以降の取組み

### 労働人口の減少

#### ☆ 熱処理設備の自動化

- ・IT化を進め省人化・省力化を推進

#### ☆ 人材雇用

- ・外国人の積極雇用
  - ・厚生労働省の外国人技能実習制度の規制緩和(金属熱処理業)
  - ・熱処理技能検定試験の活用  
(日本熱処理工業会が中心)



# 2022年6月期 決算説明資料

# 5. APPENDIX

## ■ 浸炭焼入

浸炭熱処理技術は、鉄鋼の表面に炭素を浸入拡散させたあとに焼入れを行う熱処理です。炭素を浸入拡散させることにより、鉄鋼部品の耐摩耗性、耐久性、靱性などを著しく改善することができます。

## ■ ガス軟窒化

ガス軟窒化処理とは、従来から行われていた塩浴軟窒化による品質的な問題点及び、環境負荷面を解決し、同等以上の品質特性を得るために開発された軟窒化処理方法の一つです。

ガス軟窒化処理は、無公害、短時間で有効な品質特性を得られる事から、環境側面に配慮した処理方法、又、電気自動車普及による部品の軽量化、小型化に対応した処理方法として、今後ますます幅広い市場で適用される表面硬化法です。

## ■ 高周波熱焼入

高周波焼入れ(誘導加熱焼入れとも言います)とは、一言で表現するなら必要な部位のみ加熱・冷却して焼きを入れる処理です。英語では、Induction Hardening 略して『IH』です。

## ■ 真空熱処理

大気中で自動車部品、金型等の金属材料を焼入れ(加熱、冷却)すると、大気中の酸素と金属材料の鉄が化学反応し、表面が酸化し酸化鉄になってしまいます。

しかし、真空熱処理は、装置内を様々な排気ポンプを利用し、高真空にする事で、酸素分圧が下がり、材料表面における酸化、還元、窒化、浸炭等を起こさない保護雰囲気をつくり、金属材料を焼き入れ(加熱、冷却)しても光沢をもった状態に仕上がります。これが真空熱処理の最大の特徴です。

## ■産業工作機械部品



オートメーション化された工程を受け持つ機械(ロボット)や金属部品を加工する機械、ベアリングメーカー、風力発電機用増速ギヤなどの可動する部分の熱処理加工を行っています。

## ■自動車部品



エンジン部品はもちろんのこと、電動パワーステアリング、トランスミッション、エアコン、ドアやトランクを止める為の金具に至るまで熱処理加工を行っています。

## ■建設機械部品



土木・建築の作業に使用される油圧ショベルなどのキャタピラ部品、走行用のモーター、操縦席を旋回させる為のギヤ、巨大な岩やコンクリートを粉砕する為のドリル等。建設機械ということで大型の部品が数多くあります。

## ■その他



鉄道部品では車両を動かす駆動装置の歯車やそれを包むギヤボックスも熱処理をしています。一眼レフ用カメラリング、携帯電話や腕時計に使用される電子部品材料、遊園地の遊具、CTスキャン用メインフレームにも熱処理が施されています。目に見える物ではないのであまり目立ちませんが、皆様の日常生活に欠かせないものから医療、環境に至るまで、さまざまな分野でオーネックスのテクノロジーが生かされています。

**本資料の業績予想並びに将来予測は、現時点  
で入手可能な情報に基づき当社が判断したもので  
あり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。**

**そのため、様々な要因の変化により、実際の業績  
は記述されている将来見通しとは異なる結果となる  
可能性があることを御承知おき下さい。**